SUNCORPORATION

デュアル SIM 対応ルータ



通信モジュール アップデート手順書

本書は、DRX5010、DRX5002 搭載の 通信モジュールのファームウェアを アップデートするための 手順を記載した資料となります。

https://www.sun-denshi.co.jp/sc/

はじめに

▲ 本書について

本書は、DRX5010、DRX5002の通信モジュールのファームウェアをアップデートするための手順を記載した資料となります。

製品の設定や使用方法などは「Rooster DRX 取扱説明書」および「Rooster DRX CLI設定機能説明書」、 「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」をご覧ください。

▌表記について

本書では、守っていただきたい事項に次のマークを表示しております。



人体に危険を及ぼしたり、装置に大きなダメージを与えたりする可能性があることを示しています。 必ずお守りください。



機能停止を招いたり、各種データを消してしまったりする可能性があることを示しています。 十分に注意してください。

me mo 関連する情報を記載しています。参考にお読みください。

本書内の参考画像の丸線やアンダーライン表記は、赤色が操作部分、水色が確認部分の場所になります。

▲書が対応とする機器について

本書の対象となる機種は「DRX5010」、「DRX5002」で、 「通信モジュールのFWバージョン」が古い(v14-12以前)個体が対象となります。 DRX製造番号では、DRX5010はDR01047047933以前、DRX5002はDR00247047933以前が対象となります。

■製品名について

本書では、「DRX5010」、「DRX5002」を「DRX」と省略して記載しております。



本書では通信モジュールのアップデートに関する部分のみを説明しています。その他の部分の 説明につきましては「Rooster DRX 取扱説明書」および「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」、 「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」をご覧ください。



通信モジュールのアップデートが可能な DRX のファームウェアバージョンは v2.6.0 です。 このバージョン以前の場合はバージョンアップを行ってください。 詳しくは弊社ホームページ(<u>https://www.sun-denshi.co.jp/sc/down.html#rooster-fw</u>) および 「Rooster DRX 取扱説明書」をご覧ください。 目次

	はじめに	2
1章	通信モジュールのアップデートについて	4
	1-1 方法	4
	1-2 各方法の特徴	5
	1-2-1 WEB 設定画面操作によるアップデート	5
	1-2-2 CLI コマンドによるアップデート	6
2章	準備	7
	2-1 通信モジュールのファームウェアバージョンの確認	7
	2-2 DRX 本体のファームウェアバージョンの確認	7
	2-3 イメージファイルの入手	7
	2-4 環境構築	8
	2-4-1 WEB 設定	8
	2-4-2 CLIコマンド	8
3章	操作手順	9
	3-1 シンプルモード WEB 設定	9
	3-2 アドバンスモード WEB 設定	12
	3-3 CLI コマンド	14
	3-4 その他注意事項	16
4章	サポートのご案内	17

1章 通信モジュールのアップデートについて

この章では、通信モジュールのアップデート概要について説明します。

1-1 方法

PC などの端末を DRX に接続し、「DRX モバイル通信端末 FW バージョンアップ ソフトウェア」(以下、イメージファイル)を DRX に転送することで通信モジュールのアップデートを行います。 通信モジュールのアップデートには 2 つの方法があります。

1. Web ブラウザから WEB 設定画面操作によるアップデート

2. ssh クライアントから CLI コマンド操作によるアップデート

1-2 各方法の特徴

1-2-1 WEB設定画面操作によるアップデート

Web ブラウザから DRX にアクセスし、画面操作をすることで、ファームウェアのイメージファイル を DRX ヘアップロードしてアップデートを行います。

WEB 設定画面はシンプルモード、アドバンスモードの2種類があります。



・シンプルモードの画面

本体設定
本体の各設定を行います。
ファームウェアアップデート
■ ファームウェアのアップデートを行います。
現在のファームウェアバージョン: DRX5002 RoosterOS 2.6.0 B7
アッブデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。 ファイル名: ファイルの選択ファイルが選択されていません アップデート開始

・アドバンスモードの画面

追加パッケージ			
追加パッケージのインストール	ファイルを選択 選択されていません		
パッケージ名		パージョン情報	操作

・環境イメージ



1-2-2 CLIコマンドによるアップデート

ssh クライアントから DRX にアクセスし、CLI コマンドを入力することで、ftp サーバか tftp サーバか らファームウェアのイメージファイルを DRX にダウンロードしてアップデートを行います。

•	操作画面
---	------



・環境イメージ



2章 準備

ここでは、アップデートを実施するための準備について説明します。

2-1 通信モジュールのファームウェアバージョンの確認

本書が対象とする機器ととしては、「通信モジュールのファームウェアバージョン」が古い(v14-12 以前)個体が対象となります。

DRX 製造番号では、

DRX5010はDR01047047933以前

DRX5002はDR00247047933以前

が対象となります。

上記 製造番号以降の個体や、新しいファームウェアバージョン(v14-13 以降)の場合は対象外で、 本書のアップデート作業を行う必要はありません。

通信モジュールのファームウェアバージョンを確認するには、以下の方法があります。

・CLIでは、

「show mobile」コマンドから確認できます。

詳しくは「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「3-5-1.モバイル端末情報の一覧表示」を参照 ください。

- ・アドバンスモード WEBUI では、
 モバイル通信端末ステータス画面の「モバイル通信端末情報一覧」欄の「バージョン」項目から
 確認できます。
 詳しくは「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」の「6-2.モバイル通信端末」項目を参照ください。
- ・シンプルモード WEBUI では、 確認することができません。CLI から確認いただくか、上記 DRX 製造番号から確認ください。

2-2 DRX本体のファームウェアバージョンの確認

DRX 本体のファームウェアバージョンは v2.6.0 で行ってください。

バージョンが古い場合は、先に DRX 本体のファームウェアアップデートを行ってから実施ください。 詳しくは「Rooster DRX 取扱説明書」の「6-3. ファームウェアのアップデート方法」項目を参照く ださい。

2-3 イメージファイルの入手

インターネット上の以下の URL より、イメージファイル(firmware-amm574_14-18_xxx.rtar)をダウ ンロードしてください。

https://www.sun-denshi.co.jp/sc/down.html#swtool

2-4 環境構築

2-4-1 WEB設定

DRX と PC を LAN で接続し、PC は Web ブラウザ (chrome を推奨)を準備ください。 詳しくは「Rooster DRX 取扱説明書」の「2 章 DRX の導入」項目を参照ください。

2-4-2 CLIコマンド

DRX と PC を LAN で接続し、PC は SSH クライアント(teraterm を推奨)を準備ください。 詳しくは「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「1-2. CLI での接続」項目を参照ください。

3章 操作手順

ここでは、アップデートを実施するための操作手順について説明します。

3-1 シンプルモードWEB設定

※WEB 設定ツールの基本操作については「Rooster DRX 取扱説明書」を参照ください。

 WEB 設定ツールのメニューから、 [本体設定] - [ファームウェアアップデート] をクリックし ます。「ファームウェアアップデート」のページが表示されます。

Ro	oster 設定
<	本体設定
	インターフェイス
	各種サービス
	ネットワーク
	סק
	ステータス
本	本設定
本体	の各設定を行います。
	パスワード変更
	設定情報の保存、読み込み
	設定の消去
	再起動
<	ファームウェアアップデート
	時刻證定
	メールアカウント設定

おやすみモード

電源制御

2. [ファイルの選択] ボタンをクリックして、イメージファイル "firmware-amm574_14-18_xxx.rtar" のファイルを選択します。

本体設定
本体の各設定を行います。
ファームウェアアップデート
■ ファームウェアのアップデートを行います。
現在のファームウェアバージョン: DRX5002 RoosterOS 2.6.0 B13
アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。
ファイル名 ファイルの選択 ファイルが選択されていません アップデート開始

3. [アップデート開始] ボタンをクリックします。

アップデート開	抛ボタンを押すと、扌	旨定されたファームウェアに書き換えを行います。
ファイル名:	ファイルの選択	firmware-amm574_14-18.rtar (アップデート開始)

4. 確認後ウィンドウが表示されますので [OK] ボタンをクリックし、アップデートを開始します。



5. "アップデートに成功しました"というメッセージが表示されるまで待ってください。 (10 分前後で表示されます)

※アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。 また、設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。

表示されない場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

WEB 設定画面の TOP ページから [ログ] - [システムログ]を選択し、システムログを表示します。

Rooster 設定	
本体設定	
インターフェイス	1
各種サービス	
ネットワーク	
ПŐ	\triangleright
ステータス	

7. システムログ内に

「通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました」 というメッセージが出力されていれば成功です。

もし表示されていなかった場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

ログ			
ログ表示の各設定を行います。			
その他のログ:システムログ			
■ システムログ一覧を表示します。			
現在の時間は 2024/08/29 19:23:31 最新ログ再読込 全てのログ取得 クリア			
ログ			
Aug 29 19:28:11 : rtar ファイルのインストールに成功しました。 Aug 29 19:27:55 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがパージョン'14-18'に更新されました。 Aug 29 19:27:57 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新します Aug 29 19:22:46 : ファームウェアのアップデートを行ないます。 Aug 29 19:22:09 : 時刻自動設定サービス (通信モジュール) を開始します。 Aug 29 19:21:42 : loopback : インタフェースが UP 状態になりました。 Aug 29 19:21:39 : lan : インタフェースが UP 状態になりました。 Aug 29 19:21:32 : ログシステムを開始します。 Aug 29 19:21:30 : ログシステムを開始します。 Aug 29 19:21:30 : ログシステムを開始します。 Aug 29 19:21:30 : ログシステムを開始します。			

8. DRX を再起動してください。

3-2 アドバンスモードWEB設定

※WEB 設定ツールの基本操作については「Rooster DRX AdvancedWeb 設定機能説明書」を参照ください。

 WEB 設定ツールのメニューから、 [本体設定] - [追加パッケージ]をクリックします。「追加 パッケージ」のページが表示されます。



本体設	定
	パスワード変更
	設定情報の保存・読み込み
	設定の消去
	再起動・シャットダウン
	ファームウェアアップデート
4	追加パッケージ
	時刻設定
	メールマカウント

2. [ファイルの選択] ボタンをクリックして、イメージファイル "firmware-amm574_14-18 _xxx.rtar" のファイルを選択します。

追加パッケージ		
追加パッケージのインストリーファイルの選択アア	イルが…れていません	
パッケージ名	パージョン情報	操作
<u></u>		

3. [インストール開始] ボタンをクリックします。

追加パッケージ		
追加パッケージのインストール ファイルの選択 firm	ware-a574_14-18.rtar インストール開始	
パッケージ名	パージョン情報	操作

※アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。 また、設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。 インストールが完了すると再起動確認ダイアログが表示されます。[いいえ]を選択します。
 (10 分前後で表示されます)

再起動確認
追加パッケージのインストールが完了しました 設定を有効にするには再起動をします よろしいですか?

表示されない場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

5. トップページから [ログ] - [システムログ] を選択します。

システムログ内に

「通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました」 というメッセージが出力されていれば成功です。 もし表示されていなかった場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。

システムログ	
システムログ	
現在の時間は 2024/08/29 16:08:44 最新ログ再読込 全てのロ	け取得 クリア
Aug 29 16:06:51 : 追加パッケージのインストールに成功しました。 Aug 29 16:06:36 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがパージョン'14-18 Aug 29 16:02:56 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新します Aug 29 15:48:28 : 時刻自動設定サービス (通信モジュール)を開始します。 Aug 29 15:48:03 : アドパンスドモードで動作します。 Aug 29 15:47:54 : loopback : インタフェースが UP 状態になりました。 Aug 29 15:47:52 : lan : インタフェースが UP 状態になりました。 Aug 29 15:47:45 : ログシステムを開始します。 Aug 29 15:47:45 : ログシステムを開始します。 Aug 29 15:47:43 : ログシステムを停止します。 Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。 Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。 Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。	3'に更新されました

6. DRX を再起動してください。

3-3 CLIコマンド

イメージファイルをダウンロードするための ftp / fttp サーバの環境構築や、ssh クライアン
 トのインストールと設定は完了していることを前提とします。

※CLIコマンドの詳細については「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」を参照ください。

- 1. ダウンロードしたイメージファイルを、ftp / fttp サーバの管理下のフォルダにコピーしてください。
- DRX の CLI にログインしてください。
 詳細は「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「1-2. CLI での接続」項目を参照ください。
- install コマンドでイメージファイルをインストールしてください。
 詳細は「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「2-22-1. 追加パッケージのインストール」項目を 参照ください。
 ※アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。
 また、設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。
 (ダウンロード完了から 10 分前後で終了します)
 エラーが表示された場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。
- log コマンドでシステムログを表示しログ内に 「通信モジュールのファームウェアがパージョン'14-18'に更新されました」 というメッセージが出力されていれば成功です。
 もし表示されていなかった場合は、DRX を再起動し、再度手順を繰り返してください。
 詳細は「Rooster DRX CLI 設定機能説明書」の「3-3. ログの表示」項目を参照ください。
- 5. DRX を再起動してください。

操作例

```
🏊 192.168.62.1 - Tera Term VT
                                                                                                                                 ×
                                                                                                                     _
ファイル(E) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
                                                                                                                                     ~
RoosterOS> install package firmware-amm574_14-18_xxx.rtar ftp 192.168.62.200 user password
download firmware-amm574_14-18.rtar...done
install firmware-amm574_14-18.rtar...done
RoosterOS> show log system 30
Aug 29 15:47:43 :
                                                -system started---
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:43 : ログシステムを停止します。
Aug 29 15:47:45 : ログシステムを開始します。
Aug 29 15:47:52 : Ian:インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 15:47:54 : loopback : インタフェースが UP 状態になりました。
Aug 29 15:48:03 : アドバンスドモードで動作します。
Aug 29 15:48:28 : 時刻自動設定サービス(通信モジュール)を開始します。
Aug 29 10:40:20 : 時刻日朝設定サービス (通信モジュール)を開始します。
Aug 29 15:53:22 : firmware-amm574_14-18.rtar のインストールを行います。
Aug 29 15:53:53 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新
Aug 29 15:57:26 : [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがパー
                         [AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアを更新します
[AMx574 update] 通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されま
した
Aug 29 15:57:42 : firmware-amm574_14-18.rtar のインストールに成功しました。
RoosterOS>reset system
Rooster0S>
```

3-4 その他注意事項

- 1. アップデート中は絶対に DRX の電源 OFF や、DRX の再起動をしないでください。 設定変更やステータス表示なども含め他の操作はしないでください。
- 2. インターネット側からの操作でアップデートを行うことは可能ですが、アップデート表示がされません。その場合再接続後、システムログに以下のログ

「通信モジュールのファームウェアがバージョン'14-18'に更新されました」 が出力されていれば成功となります。

アップデート成功後、以下のログが出力された場合、
 「'14-18'は動作中のファームウェアバージョンと同じです」
 通信モジュールにアップデートは適用済みのため、本書のアップデート作業は必要ありません。

4章 サポートのご案内

■最新情報の入手

DRX に関する最新情報は、弊社ホームページから入手することができます。 また、バージョンアップ情報につきましても公開しております。

- 製品紹介ページ <u>https://www.sun-denshi.co.jp/sc/product_service/router/</u>
- ■ご質問・お問い合わせ

DRX に関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

	ユーザーサポートセンター
• 電話	0587-53-7606
• FAX	0587-55-0815
・メール	support-suncomm@sun-denshi.co.jp
• 受付時間	月曜~金曜 10:00~16:00(12:00~13:00 を除く) 祝日、弊社休日を除く

Rooster DRX 通信モジュール ファームウェアアップデート手順書 Ver.1.0.0

サン電子株式会社 2024 年 9 月発行

(240830a)

© 2021 SUNCORPORATION.